

団体名		武蔵野市民防災協会						
事業部	① 指標名	防災推進員の活動			目標値	5,200回	実績値	5,103回
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成率	98.1%	達成状況	未達成
	(単位: 回)	5,860	5,293	5,330				
	取組内容	※R2年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①防災タウンウォッチング (2476) ②コミセンや町内会などの推進員としての活動 (81) ③地域設置消火器の点検活動 (2317) ④支部会議・支部主催行事等 (113) ⑤防災推進員の研修・各種訓練への参加 (116)						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・地域での安全点検としての防災タウンウォッチング、地域設置消火器点検を適切に行っている。 ・地域住民の防災意識と防災力の向上のため地域活動に積極的に参加する必要がある。 ・コミュニティセンターの行事等が中止になる中、各支部ごとの小規模な会議を増やし推進員による地域活動の意識向上を図った。						
二次評価	コロナ禍において、様々な活動が制限され、防災推進員の研修・各種訓練への参加が減少している一方で、そのような状況下でも実施可能な小規模な会議を増やし、地域活動の意識向上に努めたことは評価できる。 活動が制限されることで、防災推進員のモチベーションが低下する恐れがあるので、引き続き積極的な地域への働きかけに努めていただきたい。							
財務部	② 指標名	斡旋・販売事業			目標値	1,500千円	実績値	1,443千円
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成率	96.2%	達成状況	未達成
	(単位: 千円)	1,395	1,929	1,546				
	取組内容	※R2年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、様々な防災関連のイベントが中止となったが、感染症対策を徹底することで、昨年度と比較し回数は減少しているものの、例年通り「防災キャラバン」を実施することができた。 ・上記のとおり「防災キャラバン」の実施が難しい状況のため、9月より配達事業を開始した。 ・取り扱う商品の精査を行うことで、令和3年1月より住宅用火災報知器の販売を開始し、29個売り上げることができた。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・コロナ禍においても、「防災キャラバン」を実施することができたので、そのノウハウを引き続き生かしながら、今後も各地域において防災用品の展示・販売を実施し防災啓発を図る。 ・配達事業を推進し、高齢者・遠方の市民に対しても防災用品の備蓄を推進する。						
二次評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、対面での事業がほとんど制限される中で、新たな取組みとして配達事業を開始したことは非常に評価できる。また、既存商品だけでなく、市民の需要を把握し、新たに扱う商品を販売したことも評価できる。引き続き、防災意識の向上及び防災用品の備蓄促進について努めていただきたい。							
内部管理部	③ 指標名	職員の研修等への参加			目標値	30回	実績値	8回
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成率	26.7%	達成状況	未達成
	(単位: 回)	27	34	28				
	取組内容	※R2年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 防災に関するセミナー等に参加し、防災に関する知識向上を目指した。 ①第25回震災対策技術展(横浜)で行われたセミナーにリモートで参加した。 ②防災シンポジウムをオンライン視聴 ・毎朝会議を実施し、職員同士で情報の共有を行うとともに、それらについて協議をすることで防災に関する知識の向上を図った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止により、通常のセミナーや研修会が中止となったため目標の達成ができなかった。						
二次評価	コロナ禍における職員の防災意識向上の取組みとして、セミナーやシンポジウムへのオンライン参加や、職員同士での情報共有に努めたことは評価できる。次年度においても、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、セミナーや研修会の中止やオンライン開催が予想されるため、職員の防災に関する知識向上に向けて、新たな手法についても検討していただきたい。							